

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



株式会社タイヨーは、潜在的な価値を持つ資源を活用することで  
8つのSDGs項目に貢献できていると考えています。



WEB



Instagram



株式会社タイヨー

〒461-0025 愛知県名古屋市東区徳川 2-20-16 TEL:052-936-8432 FAX:052-935-8530

<https://taiyo-web.co.jp>



「もったいない」のその先へ。

# taiyo THREE R PROJECT

未来のために、使い捨ての文化から、モノに愛着を持った暮らしへ。



株式会社タイヨー

## 「もったいない」のその先へ。

未来のために、使い捨てる文化から、モノに愛着を持った暮らしへ。

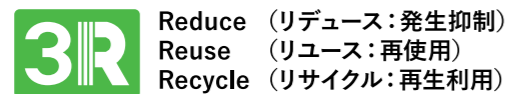
近年、企業や団体、個人が、「持続可能な社会」を実現するための

さまざまな取り組みを行っています。

特に世界的に脱プラスチックやエコに関する人々の意識が高まる中、

株式会社タイヨーでは2020年に、環境に配慮した商品の取り扱いと開発に取り組む

「3Rプロジェクト」を立ち上げました。



**3Rプロジェクトは「廃棄物」を「資源」に変えるプロジェクト。**

本来であれば捨てられるはずの余った資源に

新たな付加価値を与えるために、

デザインやアイデアを活用し、それらをアップサイクルして

新しい製品を生み出します。

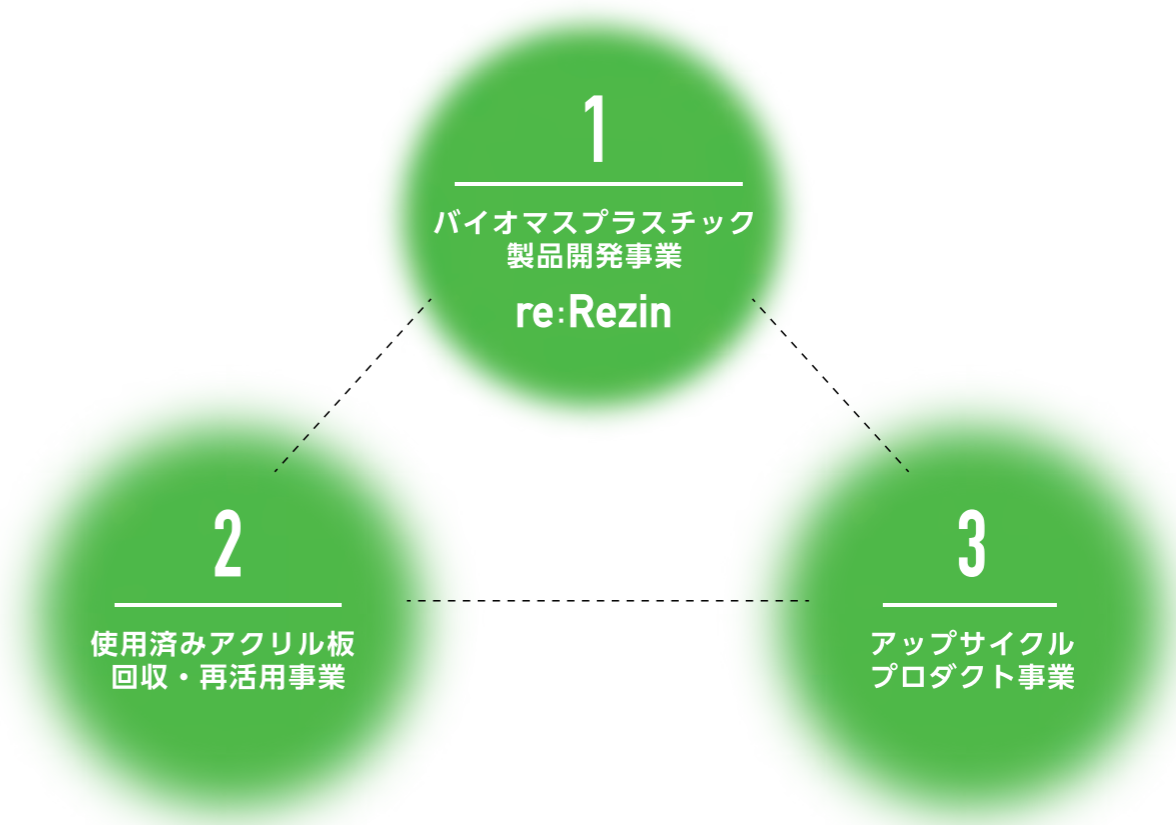
このプロジェクトは、廃棄物の削減と

持続可能な製品の開発を通じて、

よりサステナブルな未来を築くことを目指しています。



「3Rプロジェクト」は3つの事業から成り立っています。



食品残渣の活用による食品ロス削減、地産地消による間伐材資材の有効活用、

木材加工や竹の再利用など、企業が持続可能性とエシカルな視点から

取り組むべき課題は多岐にわたります。

今や企業は利益追求だけでなく、環境保全への責任も果たさなければ

いけなくなりました。

石油燃料の使用削減によりCO<sub>2</sub>排出を抑制し、非枯渇資源の活用によって

枯渇の心配も軽減できます。

さらに、環境配慮素材への切り替えは世界的な動きとして広まっています。

このような取り組みは、企業が環境への配慮を実践する一環として重要です。

株式会社タイヨーが展開する**3Rプロジェクト**では、

貴社をSDGs活動に取り組み、環境や社会に配慮した優良な企業・団体として、

PRするお手伝いを致します。

## バイオマスプラスチック製品開発販売事業

TAIYO オリジナル  
バイオマスプラスチック  
[リ・レジン]

# re:Rezin®

3R プロジェクトの理念のもとに"re:Rezin®"という名のバイオマスプラスチックを開発しました。間伐材の端材や、お茶やコーヒーを抽出した後に残る食品残渣をプラスチック樹脂に配合することで、限りある資源をアップサイクルし有効活用することを可能にしました。

re:Rezin®は環境にやさしく、捨てられるはずだった自然のチカラを、余すことなく活用した「自然と生きるプラスチック」です。

株式会社タイヨーでは、re:Rezin®を原料とした多種多様な商品の企画・開発を行っており、ご要望にあったノベルティや商品としてご提供しています。

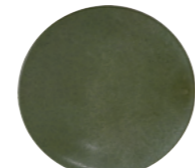
例えば「お茶」の残渣を樹脂ペレットにして、製品に生まれ変わらせています



商品にならなかったお茶



お茶の残渣を含むペレット



コースター

## re:Rezin® 残渣配合樹脂ペレットラインナップ

下記以外にも竹や竹灰などがあります。



### お茶 [ Tea ]

樹脂成形時にお茶の色目が美しく反映され、茶葉の香りも楽しめる定番品です。



### コーヒー [ Coffee ]

香りの強さが特徴です。コーヒーからできていることが一目でわかるアイテムに仕上がります。



### 木くず [ Wood ]

木工品の製造工程で出る、木くずや端材を再利用します。木が持つ優しい色合いが特徴です。



### おから [ Soy Pulp ]

大豆を原料とする「とうふ」の製造で発生する残渣を利用しており、色目が白のが特徴です。

## re:Rezin® 商品ラインナップ

下記事例は一例です。製品への名入れ印刷やパッケージも対応しています。



フライングディスク

ボールペン



定規

モーターキーホルダー



クリアボトル



コースター

## 使用済みアクリル回収再利用事業

COVID-19(新型コロナウイルス)の感染拡大により、感染防止策として、レストランや小売店、オフィスなどの現場で、感染防止のためのアクリル製仕切りや透明なパーティションの需要が増加しました。

これにより、使用済みアクリルの廃棄物が増加し、処理やリサイクルの課題が生じました。株式会社タイヨーでは、アクリルパーティションを販売しており、販売する責任の一端を担う試みとして、それらを回収・分別・粉碎加工をし新たな製品にアップサイクルする取り組みをしています。



不要になった飛沫防止アクリルパーティション等を廃棄するのではなく、回収し、価値ある商品に生まれ変わります。

一般的な廃棄方法では、撤去後の産業廃棄物処理費用の出費が必要になり、埋め立てや焼却による環境への負荷も心配されます。株式会社タイヨーでは、それらに適したアップサイクル処理を行い、再資源化し、環境保護に貢献できるノベルティや商品として企画・開発・販売を行っています。



## 商品ラインナップ

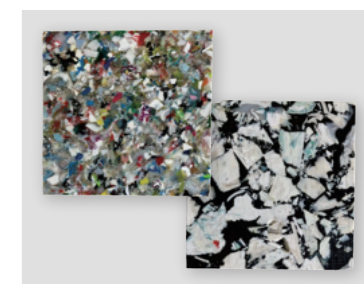
回収したアクリルをアップサイクルした商品の一例です。製品への名入れ印刷やパッケージも対応しています。



コースター・キーホルダー



マグネットバー・定規



多用途プレート



アクリルストーン



蓄光材を混ぜたアクリルストーン (昼/夜)

## アップサイクルプロジェクト事業

ホテルやレストランなどから使用済みワイン栓を回収し、選別・洗浄したワインコルクを再利用したり、自動車の生産過程で出るシートベルトの端材を再利用した商品等を企画・販売しています。

### 【廃棄コルクのアップサイクル】

ホテルやレストランで開栓した、ワインのコルク栓を回収・洗浄して新たな製品を生み出しています。回収したコルク栓を、障害者施設の方々に協力していただき洗浄してもらいます。その後、粉碎し使用用途に合わせて再凝固させ、コースターやスマホスタンドなどの新たな製品に生まれ変わらせています。



### 【シートベルト端材のアップサイクル】

弊社が関わっている自動車関連工場から出るシートベルトの端材は年間90トンにもなります。株式会社タイヨーでは、自動車の製造工程において避けられない形で発生するシートベルトの端材を再利用して、新たな商品に生まれ変わらせています。シートベルトの持つ丈夫で肌触りの良い特徴をうまく生かし、ペンケースやポーチなどを制作しています。



### 商品ラインナップ

下記掲載商品は、ほんの一例です。印刷・包装も対応しています。



リサイクルコルクからできたコースター



リサイクルコルクからできたスマホスタンド



リサイクルコルクからできた鍋敷き



シートベルト端材を活用したペンケース



シートベルト端材を活用したポーチ



ポーチの内側



私たちが環境を意識した再生事業である「3R PROJECT」をはじめたきっかけとして、弊社で扱う商品の主原料の1つである"石油系プラスチック"の存在がありました。

これまで人々の生活を便利にするために評価されてきた石油系プラスチックですが、最近では地球温暖化やごみ問題によって、否定的に取り上げられることが多くなりました。

もう一つはあらゆる生産過程で発生する"残渣"の問題。

私たちの生活では植物や食品の必要な部分だけを使用したり加工して、生活に役立っていますが、残りの部分は当たり前のように捨てています。

捨てられる残渣の中に使える部分は本当に無いのか？

利用できる方法は飼料、堆肥のほか本当に無いのだろうか？

そんな風に思ったこともきっかけでした。

自問自答を繰り返し、プラスチックのあり方を見直すこと、命のかけらである残渣を有効活用し、次世代に役立てる方法はないかを模索してきました。

そこで、株式会社タイヨーは次世代に繋がるプラスチックとして、植物の持つチカラを取り込んだ、バイオマスプラスチック「re:Rezin®」を開発しました。

「re:Rezin®」は有機物と無機物が共生し、様々な可能性を秘めた自然と生きるプラスチック。

環境配慮素材への切り替えが世界的な動きとして広まる中、自然の力を生かし、石油由来プラスチック使用量の減少を目指して、限りある資源をコントロールすることで、安心して長生きできる世界が持続すると考えます。

身近なところから一歩ずつ。

今は小さな取り組みであっても、10年後に私たちが手に取る素材は様々な変化を遂げているでしょう。

人が自然と共生し、環境にも人にも優しい未来を目指して、今日も私たちは歩みを進めます。

株式会社タイヨー

代表取締役社長

平林康徳